



# 岩手A 豊岡toZ

IWATE TOYOOKA AtoZ

<この冊子に関するお問合せ先>

岩手県立大学総合政策学部役重研究室

TEL 019-694-2756

Email : makiko\_y@iwate-pu.ac.jp



豊岡ウェブサイト 総合政策学部 FB

## メッセージ

豊岡地区と私たち岩手県立大学総合政策学部生との出会いは2020年の秋のこと。以来、役重ゼミの活動や学部の実習などで多くの学生が開拓の苦労の歴史を学んだり、集落の共同作業のお手伝いを体験したりしてきました。

ここまで続けてこられたのは、何より住民皆さんの笑顔とご親切、そして豊岡自治振興会や役場の方々が額に汗して地域を守る姿に強く心を動かされてたからにほかなりません。その感謝の思いをかたちにしようと、このたび豊岡の魅力をぎゅっと詰め込んだ「豊岡 AtoZ」を製作しました。AtoZは京都府綾部市で「半農半X」の生き方を提唱された塩見直紀先生のご指導を受け、豊岡の住民やそのご家族、係わった学生など皆さんのご協力もいただきながら、2年がかりでそのアイデアを盛り込んで作りました。ぜひ、この小さな冊子を手に取り、豊岡地区のことを想い、そして足を運んでくだされば嬉しいです。

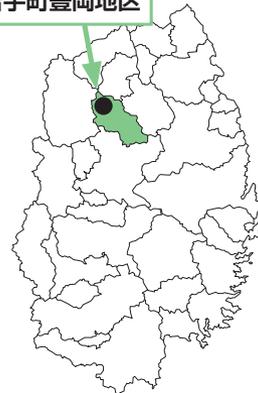
2025年3月 岩手県立大学総合政策学部 豊岡 AtoZ 製作委員会

## 岩手町と豊岡地区の紹介

岩手県岩手町は、昭和30年に沼宮内町、御堂村、一方井村、川口村の1町3ヵ村が合併して誕生した町です。岩手町を南北に走るIGRいわて銀河鉄道の御堂駅付近とこれに並行する国道4号を東西に通過する北緯40度線が通っていることから「北緯40度の町」として知られています（【岩手町】公式ウェブサイト）。

岩手町の北西部に位置する豊岡地区は、岩手県盛岡市から北へ約45km、岩手町の中山間部に位置しています。人口は約40名、高齢化率が7割近くに達する小さな集落です。第2次世界大戦後に、樺太を追われて入植、苦労して開拓したという忘れられない歴史を持ち、協力し合って暮らしを築いてきた地域です。

岩手町豊岡地区



## 目次 -コンテンツ-

- A 地域愛に溢れた住民
- B トライアルバイク
- C 学生がチャレンジできる
- D 団結力の鏡
- E 笑顔が素敵
- F フロンティア
- G 開拓者の魂が宿る学校
- H 後世に残したい歴史
- I 芋すり団子
- J 縄文土器・縄文遺跡
- K KFC とジャパンファーム
- L 広大な土地
- M 緑いっぱい
- N 仲の良さ
- O 思いやり・おおらか
- P 皆パワーがある
- Q QOL が高い
- R 気づきや発見をもらえる
- S 砂洗い
- T 助け合いの精神
- U 馬や魚、動物との距離
- V 野菜がたくさんとれる
- W 水がおいしい
- X SNS で映える景色
- Y 冬の夜空
- Z 持続可能な生活の営み



### A 愛 Ai

地域愛に溢れた住民  
今日も明日も続くことを祈る

豊岡地区のことを話す住民の皆さんは嬉しく楽しそうな顔をしています。豊岡地区がいつまでも残っていて欲しいという思いをたくさんの方が抱いています。



### B バイク Bike

トライアルバイクで  
フィールドを駆け抜けよう

豊岡地区の道路や山道は最適なバイクロードです。自治振興会長の北構さんは、地域内を愛用のバイクで駆け抜けています。数年後にはバイクマニアが集う場所になっているかもしれません。



北構さんのビッグスマイル!!

## C チャレンジ Challenge

豊岡名物スーパー会長！  
学生がチャレンジできる豊岡

自治振興会長の北構さんは、豊岡地区を残すために新しいことにも前向きに取り組むチャレンジングな方です。さらに豊岡地区と岩手県立大学の関わりは丸5年になり、学生のチャレンジの場にもなっています。



豊岡ファイト！のポーズ

## E 笑顔 Egao

住民の皆さんの笑顔が素敵！

住民の方に話しかけるといつも笑顔で接してくれます。地域活動や行事の後に囲む会では集まった人々の笑い声が会場に響き渡っています。イベント後の集合写真はいつまでも宝物です。



例大祭後の昼食での一幕。  
皆さん楽しそうです！

## D 団結 Danketsu

豊岡は団結力の鏡！

地域活動や行事には地域内外から多くの方が豊岡地区に駆けつけます。皆で同じ時間を共有し、皆で楽しむ。かつて仲間で重労働を乗り越え開拓した歴史があるからこそなし得ることだと思います。



開拓当時の貴重な写真！

## F フロンティア Frontier

フロンティア

南樺太侵攻後の昭和21年12月、樺太・千島に住んでいた223名が引揚げ、豊岡開拓団を結成し、鋤と鋸を使って土地を開墾しました。開拓の歴史を残すために「拓魂」と記された石碑が建てられています。



思い出多き学び舎



## G 学校 Gakkou

### 開拓者の魂が宿る学校

開拓者は住宅や学校、神社などを自ら建設しました。水堀小学校豊岡分校のちの豊岡小学校は昭和61年3月の閉校まで計215名の児童の学び舎となっていました。



すりおろす作業にひと苦勞

## 芋すり団子 Imosuri dango

一度は食べて欲しい、いもすり団子！

いもすり団子とは、じゃがいもをすり潰してこしたものを団子状にした食べ物で、入植直後の食料難を乗り越えるために作られていました。いもすり団子汁は、心も身体も温まる郷土料理として親しまれています。

## H 歴史 History

### 後世に残したい豊岡の歴史

豊岡地区の歴史は様々な形で伝承されています。岩手県立大学の卒業生が作成した絵本『この場所なあに? ~岩手町豊岡地区での不思議な思い出~』では、入植から現在に至るまでの歴史が優しいタッチで紹介されています。



研究者も注目

## J 縄文 Jomon

縄文土器を投げ合って遊んだ小学校時代！  
／出土品の多い縄文遺跡

豊岡遺跡では住居跡や土器などの遺物が発掘され、岩手町の指定史跡となりました。発掘当時の子どもたちは出土された土器を投げ合って遊んでいたようです。それほど豊岡地区は縄文土器の宝庫であり、昔から人々が暮らしやすい土地だったことが分かります。



増設が進みます



絶景!!

## K ケンタッキーフライドチキン KFC

ケンタッキーフライドチキンに貢献！  
ジャパンファームを誘致

令和4年にジャパンファームという企業を誘致しました。ジャパンファームではケンタッキーフライドチキンの材料となる鶏を生育しています。現在も鶏舎を段階的に増やしており、豊岡地区での産業振興が期待されます。

## L 土地 Land

広大な土地で住民の皆さんの夢も  
膨らみます！

ジャパンファームを誘致してもなお未利用の土地が多いことが豊岡地区の特徴です。未利用の土地が多いことは可能性が無限大であること。広大な土地で住民の皆さんの幸せが実現することを祈っています。



植樹会で爽やかな汗！



例大祭の花飾りを皆で制作中

## M 緑 Midori

緑いっぱい豊岡

豊岡地区に初めて訪れる人は皆「自然が豊かだね」と口を揃えます。木の実や花に触れ、空気を吸い込み、身体いっぱいに自然を感じることができます。皆さんも豊岡地区で四季を感じてリフレッシュしませんか？

## N 仲 Naka

協力関係で築いた仲の良さ

豊岡地区の魅力は、人と人との交流が盛んでつながりが強いことです。お互いの名前をちゃん付けで呼ぶほどの仲の良さが自慢です。あらゆることに全員で団結して取り組むことが深い関係性を生み出すのかもしれない。



聞き書きの提案に温かく応えて下さいました

## O 思いやり Omoiyari

地区外の人への思いやり/  
おおらかな人生の先輩たち

広い心を持った住民の方がたくさんいます。初めて訪れた学生が新しい提案を発表したときにも積極的に協力して下さる姿勢が印象的でした。人間性が尊敬できる方ばかりで、生きざまを学ぶことができます。



お社までの急な上り坂は学生でも大変！

## P パワー Power

お年寄りが多いが皆パワーがある！

女性も男性も元気で長生きなところが豊岡地区の強みです。例大祭を行うお社までの急な坂を学生よりもスタスタ登ってしまうほど体力に自信がある方が多いです。



おいしいご飯が元気の素！

## Q 生活の質 QOL

QOL が高く健康的な生活ができる！

手作りの野菜やお米をいただき元気に農作業！日中は友人に会って会話をを楽しむ。この生活が生きがいと住民の皆さんは話します。豊岡地区で真のQOL（生活の質）を感じてみませんか？



苗の結び方を教えていただいています

## R 気づき Realize

気づきや発見をもらえる  
「いい意味のアナログ」

足を運ぶ度に新しい発見があります。住民の皆さんは長年の経験からあっと驚くような知恵を教えてください。インターネット社会から離れた、私たちの暮らしに本当に必要な生きる術が詰まっています。



毎年学生が手伝いに駆けつけます

## S 砂洗い Sunaarai

砂洗いは暮らしに欠かせない大切な取り組み

砂洗いとは浄水場で使用されている浄水用の砂をきれいに洗う作業です。かなりの重労働ですが、この作業がなければ豊岡地区の水は守られません。後世までつなぎたい伝統です。



試乗させていただきました！

## U 馬 Uma

馬や魚、動物との距離が近い！

滝沢市開催のチャグチャグ馬コに出演する馬を飼っていたり、酪農をやっていたり、珍しいトンボが飛んでいたたり、川魚が泳いでいたり…豊岡地区で様々な生物と触れ合ってみませんか？



雪おろしも協力して行います！

## T 助け合い Tasukeai

助け合いの精神

隣近所の関係性が深いため、助け合ってお互いの暮らしを守っています。必要な物の貸し借りや雪かきなどあらゆる面で助け合うことができる優しさにあふれた地域です。



野菜たっぷりの豚汁は豊岡の味！

## V 野菜 Vegetable

野菜がたくさんとれる！

冷涼な気候で災害が少なく、野菜を栽培しやすい環境となっているため、多くの住民が自家栽培した野菜を食べています。また、ウドやワラビ、ぜんまいなど山菜も豊富です！



豊岡を潤す山の水源

## W 水 Water

水がおいしい！

水道をひねるとおいしい水が出てきます。これも定期的な砂洗いの恩恵です。豊岡地区の水道水は、山の湧水を引いていることが特徴。「岩手町内の湧水の中で1番美味しい」と話す人もいれば、ここの水しか飲まない馬もいるそうです。この水を使用して作る料理も感動するほどおいしいです！



豊岡地区の秋顔。紅葉がとても綺麗です！

## X 旧 twitter X

SNS で映える景色

桜の植樹を行っている公園や水源、高台の草原地帯など SNS 映えるような景色がたくさんあります。皆さんも推しの景色を見つけて、豊岡地区の魅力を発信しませんか？



役場の中村さんが寒い中撮影してくださりました！

## Y 夜空 Yozora

満天に輝く星が見える冬の夜空

山が開けており標高の高いところに位置しているため、星がよく見えます。特に冬の澄んだ夜空がきれいです。夜空の下で晩酌するのも至福のひとつだと思います。



冬の燃料に欠かせない薪も確保

## Z 持続 Zizoku

持続可能な生活の営みが残されている

砂洗いははじめとして、豊岡地区には持続可能な生活の営みが根付いています。自ら住居を建て、食料を生産し、生活に必須な水を管理する。その営みは、現在の SDGs の考え方に直結するものだったのかもしれない。

## あしがき - 地域の皆さまと教員から -

**【北構政美さん（豊岡自治振興会長）】** 学生の皆さんと交流を始めて5年が経ち、時の流れを感じています。交流開始の起点づくりに「やすらぎの里公園」造成事業を始めたこと。「聞き書き」により住民の会話をまとめ、絵本は地域の貴重な資料になりました。「豊岡 A to Z」は「地域の魅力」を引き出した。昭和世代の住民は驚くことばかりです。また、学生さんとの会話は住民も嬉しそう。いっぱい元気を頂いたことがありがたい。学生さんとの交流が続く限り、地域の未来も続くと感じています。

これまで参画された皆さんに感謝と新たに参加される学生さんにエールを送ります。

**【中村行佑さん（岩手町役場みらい創造課）】** A to Z の完成おめでとうございます！4年間のフィールドワークで地域の皆さんと作り上げた豊岡の魅力が詰まった集大成ですね。読者の皆さんが、豊岡、そして岩手町に足を運んでいただき、新たな魅力に気づいていただけるような、そんな1冊になりますように。

**【役重先生（岩手県立大学）】** 5年間通い続けて、ようやく“学生のいる風景”が豊岡の当たり前になってきた、そんな気がしています。これまで豊岡で砂を洗い、桜を植え、おいしいご飯を食べさせてもらった多くの若者たちが、いつかまた「ただいま」と訪ねてくれますように。地域の皆さん、これからもよろしくお願いします！

## あしがき - 学生から -



**【よしと（仁昌寺義斗）】** 活動を通して豊岡の沢山の魅力を知ることができました！AtoZを通して沢山のの方に歴史ある豊岡の魅力を知っていただければと思います！

**【なおや（高橋尚矢）】** 豊岡集落での活動では住民の方々と協力して砂を洗って汗をかくこともあれば、お母様方の料理を手伝って笑い合う時間もあり、そんな何気ない瞬間がこの冊子を作ったことで改めて大切なものだったと実感しました。これを機に多くの方々が豊岡の歴史、暮らし方に興味を持ってくれたら嬉しいです！



**【もえか（下道萌花）】** 豊岡地区に関わって4年、歴史や伝統に触れ、歴史や伝統を創りあげた住民の皆さんの心に触れ、何度も心を動かされる瞬間がありました。この瞬間を皆さんに少しでも共有したいという思いで『岩手豊岡 AtoZ』を作成しました。豊岡地区は、26に留まらないたくさんの方々の魅力が詰まった地域です。ぜひ一度足を運んでみてください！

## 豊岡地区のあゆみ

昭和 22 年 (1947)	樺太、千島より引揚者が盛岡市青山町の岩鷲寮に入寮	平成 6 年 (1994)	入植・開拓・小学校跡地記念碑建立
昭和 24 年 (1949)	先発隊の後に逐次入植、水堀小学校豊岡分校開校	平成 19 年 (2007)	振興会事業として健康いきいきサロン開始
昭和 25 年 (1950)	住宅 45 戸が完成、豊岡神社建立	平成 25 年 (2013)	「豊岡安心生活あいねっと事業」モデル地区として開始
昭和 33 年 (1958)	豊岡分校が豊岡小学校となる	令和 2 年 (2020)	岩手県立大生との交流始まる(翌年より桜の植樹、砂洗い)
昭和 39 年 (1964)	地区の 47 戸に電灯がとれる	令和 4 年 (2022)	誘致企業の(株) ジャパンファーム操業開始
昭和 40 年 (1965)	地域の水源を利用し水道が完成する	令和 5 年 (2023)	学生の聞き書きをもとに豊岡絵本 「この場所なあに」刊行
昭和 61 年 (1986)	過疎化が進み、豊岡小学校閉校	令和 6 年 (2024)	豊岡 A to Z の企画製作

資料：豊岡開拓入植 70 周年記念誌「この大地わが故郷」他より抜粋

## 豊岡地区と岩手県立大生の交流

- 2019 年 社会福祉学部小川研究室が「お元気発信」システムの実証・導入
- 2020 年 総合政策学部役重研究室が岩手県の活力ある小集落事業を受託（住民ヒアリング・アンケート調査など）
- 2021 年 総合政策学部実習でのフィールド活動開始（植樹会、砂洗いなど）
- 2022 年 学生による聞き書き活動 後に紙芝居化、読み聞かせ活動
- 2023 年 聞き書きをもとにした絵本「この場所なあに」製作、発刊  
ソフトウェア情報学部富澤研究室が専用 WEB サイト「地域の記憶—いわて豊岡ファン」を試作・運用
- 2024 年 豊岡例大祭において開拓体験ミニツアーを実施  
豊岡 AtoZ の作成ワークショップ開催



開拓体験ミニツアー



AtoZ ワークショップの様子

**岩手町豊岡地区を伝えるための情報発信Webサイト  
地域の記憶—いわて豊岡ファン**

このWebサイトでは  
豊岡地区の様々な情報を  
発信していきます！

**特徴1!**

豊岡について知れる  
情報を発信！

豊岡の歴史や文化、自然環境、産業、観光、教育などに関する情報を発信し、豊岡の魅力を伝える。

**特徴2!**

活動記録を確認できる  
プロジェクト紹介！

岩手県立大学学生が参加する活動記録を確認できる。活動の目的や進捗、成果などを紹介し、応援を呼びかける。

**特徴3!**

訪問者が撮影した  
写真ギャラリー！

豊岡地区の風景や建物、人々の姿を撮影した写真や動画を公開し、豊岡の魅力を伝える。

アクセスはこちらから

➤ 以下のURLまたはQRコードから閲覧できます

[https://tsukooai.soft.waste-plus.ac.jp/~chikku\\_no\\_kibaku/tyopokafan/](https://tsukooai.soft.waste-plus.ac.jp/~chikku_no_kibaku/tyopokafan/)

©2024 岩手県立大学 富澤研究室 富澤研究室 富澤研究室 富澤研究室 富澤研究室  
 富澤研究室 富澤研究室 富澤研究室 富澤研究室 富澤研究室



発行日：2025年3月

企画：豊岡 AtoZ 製作委員会（岩手県立大学生）

協力：豊岡自治振興会・岩手町役場

発行：岩手県立大学総合政策学部役重ゼミ